



総社市「鬼ノ城」と並ぶ古代朝鮮式山城
大廻小廻山城跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	おおめぐりこめぐりさんじょうあと
所在地	岡山市東区草ヶ部・瀬戸町観音寺・瀬戸町笹岡
指定年月日	平成17年3月2日
解説	大廻小廻山城跡は、東アジア情勢が緊迫した7世紀頃に築造されたと推定されている。発掘調査の結果、土塁線や一の木戸等の水門、石塁構造が確認され、古代山城であったことが確定された。
アクセス方法	JR瀬戸駅または上道駅から車で約15分
公開状況	自由
設備	トイレ  障害者用トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	大廻小廻山城跡
よみかた	おおめぐりこめぐりさんじょうあと
しょざいち (所在地)	岡山市東区草ヶ部・瀬戸町観音寺・瀬戸町笹岡
していしたひ (指定した日)	平成17年3月2日
せつめい	7世紀(せいき)の東(ひがし)アジアの軍隊(ぐんたい)との戦(たたか)いのときに、日本を守(まも)るために築(きず)いた山城(やましろ)といわれています。